



また、穂北づくり協議会（ふれあい交流部会）からは卒業生全員にメッセージを添えたブーケが贈られました。

夢に向かって粘り強く

3月16日、穂北中学校（校長 竹下英貴 89名）で第78回卒業式が行われました。

竹下校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された後、「この学年は、コロナ禍5類以降の学校行事再開に携わった中心的存在。それぞれの行事での立ち振舞いには成長を感じた。今後も回り道をしてでも夢に向かって、粘り強く突き進んで欲しい。」とはなむけの言葉を贈られました。

卒業生代表の荒川葉妃さんからは答辞として、「学年が上がることにより責任ある仕事を任せられ不安もあったが、仲間との絆のおかげで達成感を味わうことができた。在校生は今を悔いなく過ごして欲しい。」と反省点も交えながら3年間を振り返りました。

それぞれの思いをかみしめながらの校歌斉唱の後、卒業生33名は保護者や在校生の温かい拍手に見送られ、しっかりと胸を張って学び舎を後にしました。



プログラミング授業

1月22日、穂北小学校（対象4・5年生）において一風変わった面白い授業が行われました。自動車メーカーの「トヨタ」が全国の小学校向けに展開している体験授業で、ようやく当選して実現したそうです。この日は宮崎トヨタグループから講師、アシスタント6名が来校。パソコンを使用しない「ロボットイ」という教材を使用してプログラミングの基本を楽しく学びました。

内容は、ミッションに対し「右を向く」「一歩進む」などの指令が記載されたカードを組み合わせ、オモチャの自動車をゴールまで導くもの。難易度が上がる度に周囲の友だちと頭をひねる光景もうかがえました。また、自動車が見事ゴールすると歓声があがり、満足げな表情で興味津々の様子でした。



災害に備えましょう

2月3日、穂北地区館で「地域づくり講演会」が開催されました。各地区公民館などから45名が出席。「災害に備えましょう」の演題で、市役所危機管理課職員 黒木俊輔氏（島内村）を講師に迎え、南海トラフ地震の被害想定を基に「自助」「共助」に対する気付きを講演いただきました。

自分たちの地域は自分たちで守る。日頃の自主防災意識と訓練が大変重要なことだと参加者の皆さんは理解した様子でした。

公民館単位などで自主防災組織を設立すると、訓練等の支援補助があると制度の紹介もありました。

質疑応答の後、穂北地区自公連会長の橋口道夫さんより講師へのお礼が述べられました。

穂北地区は他の地区と比較すると自主防災組織が少ない状況にあるとのこと。あなたの地域でも訓練等を計画される際には、この支援制度を利用されることをお勧めします。詳しくは市役所危機管理課（43-0380）までお問い合わせください。



音楽を通じた人権の伝道師

1月31日、西都市社会福祉協議会主催による「アルケミスト交流コンサート」が穂北小学校体育館で行われました。

穂北小学校では年間を通じて福祉に関する学習を行っていて、その一環としてコンサートが計画されました。

この日は穂北小学校全校児童のほかに、保護者、穂北地区のデイサービス利用者など50名程も観覧し、多様性を認め合う心温まるコンサートを堪能しました。

アルケミスト（ボーカル…こんやしようたろう氏 ピアノ…井尻慶太氏）のお二人による即興ソングの披露に加え、渡辺 悠氏による楽器や乗り物のボイスパーカッションが児童の笑いを誘っていました。その和やかな笑いの中にも「人それぞれの個性を尊重しよう」というメッセージがたくさん詰まっていたようでした。

フィナーレでは、「あの空」を全校児童と大合唱。メッセージを素直に受け取った児童の歌声はとても力強く、また澄んでいて、観覧者の涙を誘っていました。



日頃の訓練成果を発揮

1月12日、山角橋下河川敷公園で「令和7年西都市消防出初式」が開催されました。

市内全域から消防団員607名が参加し、分団ごとに通常点検・小隊訓練を実施。穂北地区の消防団員も、部長の指揮をはじめとして規律正しい行動を披露し、日頃の訓練の成果を十二分に発揮していました。

また、消防車50台によるカラー放水や県知事表彰をはじめとする各種表彰も行われました。

第2分団（穂北地区）の成績は次のとおりです。

優勝：第6部（千田・城平地区） 部長 壹岐慶太

第2位：第8部（中須・下水流地区） 部長 橋口 剛

第3位：第3部（杉安町・杉安村地区） 部長 大石昭二



児童の願いも大空高く

前号で紹介した子ども未来部会による「ものづくり体験活動」で制作したエイ風・六角風が、穂北小学校、茶臼原小学校それぞれの風揚げ大会でお披露目。澄んだ冬空に力作が大きく羽ばたきました。

一ツ瀬川右岸堤防で行われた穂北小風揚げ大会は、程よい風にも恵まれ干支のへびをモチーフにした風が大空高く舞い上がりその光景は圧巻でした。

また、校庭で行われた茶臼原小風揚げ大会では、児童一人ひとりが風を手で「デザイン賞」を採点する審査員へ向け、描いた絵のポイントや制作時に苦戦した点をアピールする場面もありました。舞い上がる風のように児童たちの願いも天まで届くといいですね。

1/10
穂北小



1/15
茶臼原小



家庭的機能を補う児童クラブ

みなさん、「児童クラブ」をご存じですか？保護者が就労等の理由で、放課後に自宅を子どもだけで過ごす家庭を対象に、安全で充実した生活を送ることができるよう、保護者の代わりに家庭的機能を補う第3の居場所です。

穂北地区においても穂北小体育館横に20余年前に創立され、取材日（2月26日）現在33名が在籍しています。

放課後の流れとしては、学校から直接元気なあいさつと共に入室。30分程宿題をメインとした勉強タイム。その後10分間の読書、外遊びなど。常時4名態勢で支援にあたっています。

取材当日は2月生まれの誕生会も行われ、いつもよりちょっと豪華なおやつを味わっていました。夏季には小学校の厚意でプールも使用させていただいているとのこと。

お申込み条件や費用など詳細については、穂北児童クラブ（080-5428-1962）までお問い合わせください。



穂北地区で活動する**スポーツ少年団**を紹介します。
地域みなさん、ぜひ応援ください！

穂北野球スポーツ少年団

対象：小学1年生～6年生

活動場所：穂北小グラウンド

活動曜日：月、木、土

平日17時～19時

土曜13時～16時

登録者数：19名（4/1現在）

ひとこと：やる気のある子大歓迎。
一緒に野球をしてみませんか？



茶臼原バレーボールスポーツ少年団

活動場所：茶臼原小体育館

活動曜日：火、水、金

活動時間：2時間

ひとこと：10人に満たないメンバーですが元気に頑張っています。
応援よろしくお願いします。

